

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 にじいろたまご		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月1日	～	令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28 (回答者数)	22
○従業者評価実施期間	令和6年 9月1日	～	令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	5 (児童発達支援を主に担当するスタッフ)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ダウン症児のための赤ちゃん体操の取り組みがあること	各クラスにダウン症のための赤ちゃん体操の要点を取り入れ、療育の効果が上がるよう取り組んでいる 研修 や研究会へ該当職員は欠かさず参加している	職員全体で知識を共有できるよう、勉強会やミーティングを行う
2	発語に特化したクラス「ことばたまご塾」で、ことばや、親子のコミュニケーションを育む療育を行っている	あそびの中で学ぶことを大切にしており、予め予定していた内容も、子どもの発想をもとに柔軟に変化させ、あそびややりとりが生まれるよう取り組んでいる	発表会、とまではいかないが、連続企画として、準備やあそぶ経験を積み上げていく活動を行いたい
3	自由度の高いあそびクラスがあり、あそびの主役は子どもであることをスタッフが意識して関わられるよう心がけている事	ご家庭で気軽に療育的時間を持てるよう、手軽に取り組めるあそび、活動を提案できるように努めている	ことばたまご塾で唄絵本に取り組んでいるので、新作を作りたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎等でスタッフの出入りが多いクラスがあり、その時刻にはスタッフを増員できるとよいと感じている	送迎による利用の希望が重なっている事	
2	作業療法士や言語聴覚士といった専門職の職員がいない		現職員で研修などに参加、研鑽を積む
3			